



終了時間まで熱中して作成！

令和6年11月16・17日の2日間、イオンモール釧路昭和のサンコート広場で、「2024木育・森づくりフェア」が開催されました。

この催しは、「釧路町村会の環境保全型森づくりプロジェクトチーム」と「くしろ森と緑の会」が呼びかけ人となり、釧路総合振興局・根室振興局や関係団体、根釧西部森林管理署と当センターが連携し、地域の方々に木育の取組みを通して、森づくりへの関心を高めていただくため、「木とふれあう機会」を提供し、「森林づくりの重要性」や「木の良さ」等への理解を深めていただくことを目的として開催されました。

会場では、釧路根室管内の木育活動・植樹活動等の様子や地域材を活用した木製品を紹介するコーナー、木育体験ができる「木育広場」、木にふれて遊ぶことができる「木工体験・木製遊具」コーナー等々が展開され、各ブースは多くの来場者で賑わっていました。

当センターは16日に、根釧西部森林管理署とマツボックリやドングリ、木の枝等の森林の素材を使った木工クラフトを行いました。この日は、約50名の親子連れや

子どもたちが当ブースを訪れ、木の香りを感じながらエゾシカやタンチョウの森林の動物、マツボックリをビーズで飾付けたミニツリーを作成していました。また、当ブースでは終了時間ギリギリまで、熱中して木工クラフトを作成する親子や参加者同士で楽しそうに会話をしながら作成する様子も見られ、「子どもが昨日から、木工クラフトを楽しみにしていました。」や「まだ、まだ、作りたい！」等の感想があり、木の良さや温もりを改めて感じていただき、森林づくりへの理解を深めていただける催しとなりました。



▽根釧西部署と当センターブースの様子



▽これはオットセイ！？



▽会場の様子

発想力豊かな作品が 完成しました

令和6年12月3日、標茶町立中茶安別小学校で、小学1～6年生の21名を対象に、「ミニツリーの作成体験」を実施しました。

この活動は、今年で4回目となり、当日は授業参観日で保護者の方々が見守る中、子どもたちはマツボックリやドングリ、木の枝等の森林の恵みを自在に組合わせて、ミニツリーや森林の生き物等、創造性あふれる大人では生み出せない、素晴らしい作品を数多く作成し、会場は笑顔あふれる、和やかな雰囲気になっていました。

さらに、今回は木製の「オーナメント」と「フォトフレーム」の作成も取入れ、保護者の方々からは、「子どもたちの自由な発想力ってすごいですね。」や「どこに飾ろうか。」といった声が聞かれました。次々とアイデアを生み出し、手を止めることなく取組む子どもたちの姿を目の当たりにし、発想力と想像力の豊かさに感服しました。完成した作品が、各家庭での楽しいひとときや森林と自然への興味を深めるきっかけになってくれれば、大変うれしく思います。



▽発想力が豊かな作品



▽作成の様子



▽オオワシの様子

猛禽類について学びました

令和6年11月15日、根釧西部森林管理署が主催する猛禽類医学研究所の見学に参加しました。

オオワシやシマフクロウ等の猛禽類は、生態系の上位層であり、全体に影響を及ぼすと考えられており、猛禽類の現状を知ること、生態系で何が起きているかを読み取ろうと研究が進められています。

近年は、猛禽類と車両の交通事故が多く、様々な対策が講じられています。事故に遭った個体を治療するだけでなく、原因や対策まで考えることの大切さを感じました。



林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

国民の森林・国有林



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。